プレスリリース

報道関係者各位

2018 年 10 月 26 日
神石高原町
広島県立油木高等学校
慶應義塾大学 SFC 研究所

「油木高校生がつくる神石高原町ドローンアカデミー」発足

― 「高校生による高校魅力化拠点」が地域課題へのドローン活用に挑戦します ―

2018 年 11 月 1 日、広島県立油木高等学校の生徒と広島県の神石高原町地域おこし研究員の貫洞聖彦氏による提案のもと、神石高原町と広島県立油木高等学校が連携し、高校生による高校魅力化拠点「油木高校生がつくる神石高原町ドローンアカデミー（以下、油木高校生ドローンアカデミー）」を発足させます。

この「油木高校生ドローンアカデミー」は、慶應義塾大学 SFC 研究所（社会イノベーション・ラボ、ドローン社会共創コンソーシアム）による助言・支援のもとで、油木高校生と地域おこし研究員が約 1 年にわたって行ってきた各種の活動実績を基盤とするもので、油木高校生と地域内外の多様な主体が協働で、地域課題へのドローン活用に挑戦します。

油木高校生ドローンアカデミーの発足にあたり、油木高等学校にて記者会見を行います。

この記者会見では、高校生のアカデミー代表をはじめ、協力・支援を行う関係者が出席し、ドローンを用いたこれまでの油木高校生の実践内容や、今後の活動構想について発表します。

【記者会見】

日時：2018 年 11 月 1 日（木）12：40～13：20

場所：広島県立油木高等学校「生徒ホール」
広島県神石郡神石高原町油木乙 1965　http://www.yuki-h.hiroshima-c.ed.jp/access.php
生徒ホール http://www.yuki-h.hiroshima-c.ed.jp/facility/kousha.pdf（旧校舎の建物）

出席者（予定）：　福島 大悟・井上 菜月・立原 颯人（油木高等学校 2 年）
貫洞 聖彦（神石高原町地域おこし研究員、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）
入江 嘉則（神石高原町長）
塚廣　基（広島県立油木高等学校 校長）
玉村 雅敏（慶應義塾大学総合政策学部教授、SFC 研究所社会イノベーション・ラボ代表）
南　政樹（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教、
SFC 研究所ドローン社会共創コンソーシアム副代表）
他

（参考）「油木高校生がつくる神石高原町ドローンアカデミー」の活動内容について

油木高校生ドローンアカデミーは、油木高校生が「自らの高校の魅力化と学習環境をつくり上げる」ことを目的とした、地域でのプロジェクト学習を基盤にした自主的な活動の場です。その活動は、神石高原町の特性に対応したテーマを高校生が自ら設定し、地域内外の多様な主体と協働で推進していきます。

例えば、ドローンを用いることで、田畑・森林の活性度検査や、測量、赤外線カメラを用いた鳥獣の探索、インフラの修繕箇所の検査などを行うことが可能です。

油木高校生ドローンアカデミーは、これまでの活動実績をもとに 2018 年 11 月 1 日に発足した後、神石高原町の高校魅力化＋プロジェクトの一環で、地域連携のもと、高校生によるアクティブラーニング（能動的・主体的な学びの活動）を行う場として 2019 年度以降も継続的に活動します。

＜問い合わせ先＞
■ 神石高原町　まちづくり推進課（電話）0847-89-3332　（担当：矢川）
■ 広島県立油木高等学校　（電話）0847-82-0006　（担当：池田）
■ 慶應義塾大学 SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ（電話）03-4590-0444
E-Mail：si-lab@sfc.keio.ac.jp（担当：貫洞・菅井）
（配信元：慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当　E-Mail：kri-pr@sfc.keio.ac.jp）